

重井小中学校と因北小中学校の学校再編に係る
因北小中学校保護者及び地域説明会（第2回）議事録

- 1 日 時 令和6年12月16日（月） 19:00～20:20
- 2 場 所 因北小学校 体育館
- 3 参集者 因北小中学校保護者5名、地域10名
- 4 説明者 宮本教育長、中濱教育総務部長、小柳学校教育部長
植原因島瀬戸田地域教育課長、安保学校経営企画課長、金子教育指導課長
小田因島瀬戸田地域教育課地域教育係長、宮崎学校経営企画課企画振興係長（司会）

5 進 行

担 当	内 容
司会者	<p>（19:00 開会）</p> <p>本日はお集まりいただきましてありがとうございます。これから、「重井小中学校と因北小中学校の学校再編について」、2回目の説明会を開催いたします。今回は小中学校保護者、地域、就学前保護者の皆様を対象とした合同開催とさせていただきます。この後、説明に約40分、質疑に約1時間20分をいただき、概ね2時間を考えております。よろしく願いいたします。はじめに、教育長よりご挨拶申し上げます。</p>
宮本教育長	<p>（教育長挨拶）</p> <p>皆様こんばんは。教育長の宮本でございます。</p> <p>昼間のお仕事などで大変お疲れのところ、また、寒い中、この説明会にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>9月27日に開催しました第1回保護者説明会、10月9日に開催いたしました地域説明会では、今後、重井小学校の複式学級化や重井中学校の小規模化が見込まれることから、児童生徒が切磋琢磨できる適正規模の教育環境を充実するという観点から、重井小中学校・因北小中学校を令和9年度に学校再編し、因北小中学校を小中一貫教育校とすることを提案させていただきました。</p> <p>保護者説明会の後、因北小中学校の保護者の皆様には、アンケートを実施させていただきました。アンケートに書いていただきました質問につきましては、その回答を、既に学校を通じて配付させていただいているところでございます。</p> <p>さて、本日の説明会の流れについてでございますが、もしかすると本日初めて説明会に参加して下さっている方もいらっしゃるかもしれないと考えまして、はじめに、第1回保護者説明会、地域説明会の提案内容のポイントを再度説明させていただけたらと思います。</p> <p>次に、第1回保護者説明会後に実施いたしました保護者アンケートで</p>

金子教育指導課長	<p>いただいた質問の中で、説明会の質疑の中で出ていなかった内容を中心に、本日説明させていただきたいと思っております。</p> <p>また、校名につきましては、これまでの説明会やアンケートにおきまして、皆様方から様々なご意見をいただきました。そういったご意見を踏まえまして、教育委員会で検討しました結果を、本日改めて説明させていただきたいと考えております。教育委員会からの説明の後は、皆様方のご意見ご質問にお答えしてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>(事務局からの説明)</p> <p>本日は、重井小中学校と因北小中学校の学校再編について、小中学校保護者、地域、就学前保護者の皆様合同の説明会にお越しいただきありがとうございます。</p> <p>これから、子どもたちの未来を拓く、小中一貫教育校による新たな学びの創造と題して、重井小中学校と因北小中学校の学校再編について説明をさせていただきます。</p> <p>教育委員会では、再編後の学校の姿として、「子どもたちが元気に明るく学校に通い、切磋琢磨しながら生き生きと学ぶことができる学校」、「保護者・地域から愛され、誇りに思える学校」を目指していきたいと考えています。</p> <p>本日の説明はスライドにあるように、大きく4点。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 第1回説明会の提案内容について <ul style="list-style-type: none"> ○重井小中学校と因北小中学校の学校再編について ○小中一貫教育校について 2 因北小中学校保護者アンケートについて 3 重井小中学校と因北小中学校の学校再編・校名の方向性について 4 今後のスケジュール（案）について の順で説明いたします。 <p>1 第1回説明会の提案内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○重井小中学校と因北小中学校の学校再編について <p>令和9年度重井小学校と因北小学校は因北小学校に、同じく令和9年度重井中学校と因北中学校は因北中学校に学校再編します。学校施設は因北小学校、因北中学校とします。令和9年度の学校再編と同時に、小中一貫教育校へ移行することを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小中一貫教育校について、 <p>小中一貫教育校は、市内小中学校の教育環境や教育内容の充実を図っ</p>
----------	--

ていく上でのモデルとなり、他の中学校区と切磋琢磨しながら尾道全体の教育の質の向上を目指す学校です。尾道市内2番目となる小中一貫教育校で新たな学びを創造し、尾道スタンダードとして市内へ発信していきます。

提案している小中一貫教育校は、因北小学校、因北中学校の2つの学校からなり、それぞれの学校に校長が配置され、教職員組織があります。小中一貫教育校は、小学校と中学校が、共通の学校教育目標や目指す子ども像の下、義務教育9年間を通した系統的な教育課程を編成します。このことにより、これまで以上に魅力的で子どもたちに力を付けることのできる教育が可能になると考えています。また、教育研究の研究主題や生徒指導規程等、学校運営上必要な事項の多くが小学校と中学校で共通となるため、授業や生徒指導において、教職員が共通の指導方法で9年間児童生徒に対応することが可能となり、子どもたちにとっても、小学校から中学校へスムーズに接続することができると考えています。

小中一貫教育校では、コミュニティ・スクール化、小学校に専科教員の配置、これまでと同様に中学校に引き続き不登校支援のためのSSRというスペシャルサポートルームの設置、小学校に引き続き通級指導教室の設置、新たにALTの常駐化、学校司書の配置、スクールソーシャルワーカーの常駐化等を行い、教育環境の充実に力を注いでいきます。

教育内容については、目指す子ども像や育てたい資質・能力を小中9年間の一体的な学びで実現させていくためには、これまで各学校が培ってきた学びを大切にしながら、新しい学校の特色を出していくことのできる教育内容を創っていくことが大切であると考えています。

尾道市では今年度から「グローバル」「ローカル」「尾道らしさ」を推進する事業を進めています。小中一貫教育校では、尾道「因島」らしさを土台として、「グローバルな学び（世界を意識した学び）」と、「ローカルな学び（尾道「因島）」という地域を活かした学び」を組み合わせ、尾道「因島」らしさのある9年間の教育内容を創造し、子どもたちに知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」の育成を図っていきます。

これは児童生徒が成長した姿を発表するイメージ例です。

左側は、小学校での学びの集大成として、総合的な学習の時間等で学んだ「ふるさと学習」の学びを発表する場のイメージです。保護者や地域の方と、子どもたちの成長を喜び合いたいと考えています。

右側は、中学校で、小中9年間の学びの集大成としての「因島からの

<p>榎原因島瀬戸 田地域教育課 長</p>	<p>政策提言発表会」のイメージです。夢の実現や社会的自立に向け、地域に貢献することのできる生徒の姿を保護者や地域の方に見ていただきたいと考えています。このような、因北中学校区小中一貫教育校の学びを、市内全体に発信、普及していきます。</p> <p>ここまでが前回説明会の振り返りとなります。</p> <p>2 因北小中学校保護者アンケートについて</p> <p>資料1をご覧ください。この配付資料は11月5日付で、学校から保護者の皆様へ配付している資料と同じ物です。アンケート回答期間は9月30日（月）から10月11日（金）まででした。因北小中学校の児童生徒数は464人、家庭数は小学校216、中学校154、計370家庭です。回答数は小学校95人、中学校73人、計168人で、回答率は45.4%でした。</p> <p>はじめに、保護者アンケートでいただいた意見等を紹介します。</p> <p>質問1「重井小中学校と因北小中学校の学校再編案（説明内容）についてのお考えをお聞かせください。」回答件数は25件でした。</p> <p>回答内容として、「学校再編の内容については概ね良い。」という意見が10件ありました。その中には、「子どもたちや地域にとって良いこと。児童生徒数の事を考えると仕方ない。」「子ども時代は密な環境が良い。」という意見がありました。</p> <p>「学校名を変更する必要はないのではないか。」という意見が9件ありました。その中には、「変更に伴う費用などを使用するなら子どもたちのために使ってほしい。」「子どもたちのために学校設備に投資してほしい。」「通学路やバスの利便性などを重点的に配慮してほしい。」「今まで変わることがなかったのに、この度は変えるのはどうなのか。」「近い将来、因島に小中が1校になるかもしれない。今、学校名を変える必要があるのか。」という意見がありました。</p> <p>「令和9年度に再編になるようですが、もっと早くしてほしかった。」という意見が2件ありました。</p> <p>その他、いただいた意見として、「校舎が違うので小中一貫の意味を感じられるのかという疑問がある。」「地域の声も大切ですが、保護者や子どもたちの意見を大切にしてほしい。」「特別支援学級の支援体制を充実してほしい。」「放課後児童クラブへ条件を満たしていたら必ず入れるようにしてほしい。」「因北小の3年生は男の子が少ないので、一緒になると少しでも増えるので良い。」「島内の高校までなくなることはないよう、連携してほしい。」「子どもたちにとって最善でより良い環境になることを願う。」「就学前から一緒の子もいるので、統合しても問題なく小</p>
--------------------------------	---

学校に入学できる。」「中学校部活動の種類再編は必須だと思う。」「制服や体操服などはどうなるのか。変わる場合、おさがりを着せたい。」「通学するにあたり、交通手段の確保や道路整備などが必須だと思う。」という意見が1件ずつありました。

次に、質問2「その他、ご質問やご意見があれば、お書きください。」回答件数は30件でした。

回答内容として、「学校名を変更する必要はないのではないか。」という意見が10件ありました。その中には、「一番は児童生徒が楽しく安全快適に過ごせる環境を整えることだと思う。」「すでに統合した学校名が因北なので、変える必要はないと思う。」「大浜小と統合したときも、校歌、校章は変わっていない。」「制服や体操服を新しくするのは、保護者負担が増えるので避けてほしい。」という意見がありました。

「通学対策について配慮してほしい。」という意見が4件ありました。その中には、「路線の拡充や、便数の増便、自転車通学の安全性等、通いやすい取組をしてほしい。」「西浦や大浜の下校時のバスの便をもっと増やしてほしい。」「スクールバスは無駄のないような導入をして欲しい。」「重井からの自転車通学で、自転車以外の交通手段があれば助かる。」という意見がありました。

「小中一貫教育校について」の意見が3件ありました。その中には、「今までとの違いが分からない。」「職員の負担が増えることなく、視野の狭い環境に子どもたちがおかれることがないよう努めてほしい。」「教科担任制に賛成。子どもたちも理解しやすく、先生による差がなくなる。」という意見がありました。

その他、「学校選択制度について柔軟に対応してほしい。人数枠をなくしてほしい。」「重井小中学校の伝統（トランペット鼓隊等）を是非引き継いでほしい。」「子どもたちが誇りを持って、元気に楽しく通う学校にしてほしい。」「すぐにでも再編した方が子どもたちのためだと思う。」「もっと早く合併してほしかった。」「学校再編には反対しないが、因島から学校が少なくなることは不安視している。」「因北と重井が一緒になったとしても、小規模特認校や学びの多様化学校が近くに存在してほしい。」「統合するまでに子ども同士の交流する機会を多く作ってほしい。」「体育館の改修やエアコン設置等の、比較的金がかかる部分の大規模改修をお願いしたい。」「教員配置と同時に業務負担を減らし児童生徒との関わりをしっかりと持てる体制を整えてほしい。」「今現在の子育て世代

	<p>の意見や要望を大きく取り入れてもらいたい。」「重井から出た質問内容についての回答を聞きたい。」「新しい学校の伝統を創っていくのはこれからの子どもたちだと思う。」「学力の底上げだけでなく、伸びている生徒にも相当の学習指導をしてほしい。」「因北中学校のグラウンドが狭いので、近くに広いグラウンドがあると良い。」というご意見を1件ずついただきました。</p>
<p>安保学校経営 企画課長</p>	<p>次に、配付資料2保護者アンケートへの回答をご覧ください。 この配付資料も11月5日付で、学校から保護者の皆様へ配付している資料と同じ物です。ここでの説明は、第1回説明会の質疑の中で出ていなかった質問やもう少し詳しく説明してほしいという要望があった質問について、説明させていただきます。説明する項目には下線を引いています。スライド16質問項目4をご覧ください。</p>
<p>金子教育指導 課長</p>	<p>質問項目4「重井小学校にはトランペット鼓隊があり、伝統がある。是非引き継いでほしい。重井小中学校児童生徒の地域での活動を継続してほしい。」というご質問をいただきました。これについての回答です。 重井小学校のトランペット鼓隊は、歴史があり、特色ある教育活動の1つであると認識しております。学校再編したとしても、可能な限り再編後の学校に引き継いでいきたいと考えております。例えば、特別活動の中で、クラブ活動の1つとしてトランペット鼓隊を位置付け、引き継ぐことが考えられます。具体的には、小中一貫教育校準備委員会（仮称）の中で検討していくこととなります。 また、重井小中学校の児童生徒が、重井公民館等、地域での活動を継続できることが望ましいと考えています。今後、小中一貫教育校準備委員会（仮称）や学校運営協議会の中で具体的な検討をしていくこととなります。</p>
<p>安保学校経営 企画課長</p>	<p>続いて5「小中一貫教育校となるようだが、今までとの違いが分からない。」という質問です。 小中一貫教育校の説明については、スライド4、5の説明と重複しますので、資料2の3ページ7行目の終わりから読ませさせていただきます。 学校組織としては現状と違いはありませんが、9年間を通した系統的な教育課程を編成するため、中学校卒業時点でのゴールイメージを意識しながら、小中で連続した教育活動を展開できることや、小学校と中学校の教員が同じ目線で子どもの指導にあたることのできることから、い</p>

金子教育指導課長	<p>わゆる中1ギャップの解消や緩和、学力向上に今まで以上に繋げることが可能となります。また、教育研究の研究主題や、生徒指導規程等、学校運営上、必要な事項の多くが小学校と中学校で共通となるため、授業や生徒指導において、教職員が共通の指導方法で9年間児童生徒に対応することが可能となり、子どもたちにとっても、小学校から中学校へスムーズに接続することができると思っています。</p> <p>これは資料には書いてありませんが、補足として、文部科学省が平成29年に実施した「小中一貫教育の導入状況調査」では、導入自治体の99%が「成果が認められる」と回答しております。また、「中学校への進学に不安を覚える児童が減少した」96%、「学習規律・生活規律の定着が進んだ」92%、「小中学校の教職員間で協力して指導にあたる意識が高まった」97%等、小中一貫教育の成果として挙げられております。</p> <p>質問項目7「なかよし学級の児童数が増えるので、学級が増えるのか。もしくは重井小学校の教員がなかよし学級の補助なり入って頂けると大変助かる。懇談でも、複数学年を1人の先生がみていると、授業のペースが遅くなっている現状ときいている。2人必要だ。」というご質問です。</p> <p>現在、因北小学校の特別支援学級は、知的障害特別支援学級が1学級、自閉症・情緒障害特別支援学級が4学級あります。重井小学校の特別支援学級は、知的障害特別支援学級が1学級、自閉症・情緒障害特別支援学級が1学級あります。</p> <p>特別支援学級の1学級の定員は8人です。重井小学校と因北小学校が学校再編し、特別支援学級に在籍する児童数が増加し、8の倍数、8人、16人、24人、32人を超える場合には、学級が増えることとなります。</p> <p>また、特別支援学級には、必要に応じて、身体的な介助や安全面等で個別の支援が必要な児童生徒を支援するための特別支援教育支援員を配置し、学級担任と連携し複数体制で指導・支援するようにしています。学校再編後も、特別支援学級の指導体制の充実を図っていきたいと考えています。</p>
金子教育指導課長	<p>続いて質問項目9「因北、重井の子ども同士、少しでも弊害がないように、合併するまでに交流する機会を多く作って頂きたい。」というご質問です。</p> <p>児童生徒間交流の実施内容や時期については、小中一貫教育校準備委</p>

<p>安保学校経営 企画課長</p>	<p>員会（仮称）において、具体的に検討していくこととなります。例えば、オンラインや対面での授業交流や、遠足等の校外活動の合同実施が考えられます。交流を通して、安心して学校に通えるように、子ども同士の良好な人間関係を築いていきます。</p> <p>続いて質問項目11「重井からのバスだけでなく、西浦や大浜の下校時のバスの便をもっと増やして欲しい。」というご質問ご意見です。</p> <p>西浦地域や大浜地域から因北小学校へ通学する児童が、登下校に利用する路線バスの便数が少ないことは認識しております。今後、小中一貫教育校準備委員会（仮称）の中で、重井小学校から通学する児童だけではなく、現在因北小学校で路線バスを活用している児童についても、路線バスを活用した通学支援について検討していくこととなります。準備委員会での検討内容を踏まえ、児童が安全に通学することができるよう、教育委員会が路線バス事業者と連携していきます。</p> <p>質問項目12「重井からの通学路、通学方法について。希望はスクールバスの運営ですが、難しいのであれば定期の支給や一部助成、路線バスを使うのであれば、路線の拡充や便数の増便。自転車通学路の安全性等、とにかく通いやすい取組を考えて頂きたい。」というご意見です。</p> <p>尾道市通学対策基準において、通常利用すると考えられる通学路を路線バスが運行している場合は路線バスの定期券を支給し、路線バスでの通学が困難であると認められる場合にはスクールバス等の運行を実施することとしております。</p> <p>令和6年10月に、重井方面の路線バスの実証実験が行われると聞いており、実証実験の結果、路線バスの運行が始まれば、路線バスの定期券を支給することになります。その場合、路線バスの運行時間や便数の必要性の有無等については、学校の時程等を踏まえ、教育委員会がバス事業者と連携していきます。</p> <p>子どもたちの通学路の安全対策は重要であるため、尾道市通学路交通安全プログラムに基づき、通学路候補となる道路を、学校・保護者・地域・道路管理者・警察・教育委員会等が、徒歩通学、自転車通学、両方の視点で合同点検を行います。合同点検により抽出された危険箇所については速やかに関係機関と連携し、対策を講じていきます。</p> <p>既に実証実験が行われておりますので、今後実証実験の結果等を路線バス事業者と連携してまいります。</p>
<p>金子教育指導</p>	<p>次に中学校の部活動について、質問項目13「中学の部活動の種類</p>

課長	<p>再編は必須だと思う。」というご意見です。</p> <p>学校再編後には、スポーツ、音楽、文化、地域の特色を活かした太鼓・囲碁等、生徒の興味・関心に応じた選択肢のある部活動も含めた再編成をすることで、生徒のニーズや保護者の期待にも応えていきたいと考えています。また、再編した令和9年度以降も生徒数の減少が見込まれているため、今後の生徒数を意識した部活動の再編成が必要だと考えています。</p>
<p>安 保 学 校 経 営 企 画 課 長</p>	<p>続いて、制服や体操服の支給等保護者の負担軽減について、質問項目14「制服や体操服などはどうなるのか。変わる場合、上の兄弟のおさがりを着せたいがだめなのか。因北小中学校のものを使用するのか。」というご質問です。</p> <p>これまで、学校再編し新設校となった小中学校では、統合前年度の小学校1年生から5年生、中学校1年生2年生には制服や体操服を1着ずつ支給しております。制服が似ている場合には、統合前の学校の制服をそのまま着用し支給していない場合もあります。</p> <p>新設校になる、ならないに関わらず、制服や体操服については、小中一貫教育校準備委員会（仮称）の中で、現在、因北小中学校が着用しているものを継続して使用するのか、新しくしていくのかを検討していくこととなります。おさがりの着用についても準備委員会の中で検討することとなります。</p>
<p>金 子 教 育 指 導 課 長</p>	<p>次に学校選択制度について、質問項目15「上限の廃止を希望する。2年後から合併する場合、来年度から早目に因北に行かせようと思われる保護者も少なくないと思われる。人数制限を撤廃し、希望者は全員入れて頂きたい。」とのご意見です。</p> <p>学校選択制度は、尾道市内一律の制度となっております。現在は各小中学校10人枠を基本として募集をしております。そのため、因北小中学校のみ、受入可能人数の上限をなくすことは難しいと考えております。</p> <p>しかし、今回は、教育委員会として学校再編の提案をしていることから、受入可能人数を超えて申請があった場合は、状況を確認した上で、教育委員会内で協議し、希望される保護者の方の意向に沿った対応をしていきたいと考えています。令和7年度入学学校選択制度の状況ですが、因北小学校、因北中学校ともに受入可能人数を超えての申請はありませんでしたので、希望通り受け入れが可能な状況でございます。</p>

<p>榎原因島瀬戸 田地域教育課 長</p>	<p>続きまして、施設整備について、質問項目16「もし予算があるならば、体育館の改修や体育館へエアコン設置等、比較的金のかかる部分の大規模改修をお願いできないか。南海トラフ等で被災した場合の避難場所にもなるし、地域の方の意見も得られやすいと思う。」といったご質問をいただきました。回答させていただきます。</p> <p>体育館は、児童生徒の教育活動の場であることはもちろんのこと、災害時には避難所として活用することとなり、因北地区では重要な役割を担っています。体育館については、小・中学校共に耐震化工事は終わっておりますが、経年劣化による老朽化への対応を今後進めていく必要があります。まずは建築年数の古い小学校の体育館の改修について、現在検討を行っています。</p> <p>また、近年の夏場の高温の影響により、児童生徒の熱中症のリスクが高まっていることもあり、体育館へのエアコン設置については、全国及び近隣市町の動向を注視し、調査・研究を始めているところです。</p>
<p>安保学校経営 企画課長</p>	<p>続いて、放課後児童クラブについてのご質問です。こちらは所管が子育て支援課になります。質問項目17「放課後児童クラブは条件を満たしていたら必ず入れるようにしてほしい。」といったご質問です。</p> <p>放課後児童クラブの運営につきましては、事前に利用希望を集約し、できるだけ待機がないように、場所の確保や体制の整備に努めております。因北小学校の児童クラブにおきましては、重井小学校との学校再編により利用児童数が増えることが想定されますが、待機児童が出ないよう場所の確保並びに体制の整備に努めてまいります。</p> <p>3 重井小中学校と因北小中学校の学校再編・校名の方向性について</p> <p>第1回の説明会で、9月20日重井中学校区地域説明会で出されたプレゼン画面にあるような「学校名、校歌、校章を新しくし、新設校にして欲しい。」という意見や要望を紹介しました。</p> <p>このスライドからスライド26までに掲載している、校名や学校再編に関する保護者や地域の皆様からいただいた意見については、11月20日・21日に開催した重井小中学校保護者、重井中学校区地域説明会において紹介させていただきました。</p> <p>このプレゼン画面には、因北中学校区地域説明会でいただいた意見を掲載しています。</p> <p>因北小中学校保護者説明会では、直接的な意見はありませんでした。</p> <p>因北小中学校保護者アンケートの中では、「学校名を変更する必要は</p>

ないのではないか。」という意見は19件ありました。その意見をまとめたものがスライド画面になります。

学校再編についての意見は23件ありました。その意見をまとめたものがスライド画面になります。

また、因北中学校区地域から、スライド画面のような意見をいただきました。

ここで、前回提示させていただいた、尾道市教育委員会の学校再編の考え方を再度確認させていただきます。

本市では、子どもたちの安全安心の確保はもとより、教育環境の充実を目指し、適正な学校規模の確保を基本として、小中学校の学校再編を進めてまいりました。

今回の重井小中学校の学校再編は（1）適正な学校規模の確保 複式学級の早期解消 という基準に該当するため提案しているということになります。

校名の方向性について、教育委員会の考え方です。

これは、11月20日・21日に開催した、重井小中学校保護者、地域の皆様に説明した内容と同じです。

方針として、令和9年度重井小中学校を因北小中学校に学校再編する。校名及び場所は、因北小学校、因北中学校とする。令和9年度に、因北中学校区小中一貫教育校に移行する。ということです。

理由として、1点目は子どもたちの教育環境を充実させるということです。今回の学校再編は、学校再編計画の再編基準に基づいた提案です。重井小学校では毎年複式学級が生じる。重井中学校では全校生徒数の減少により小規模化するという状況が見込まれるため、できるだけ早期に、児童生徒が切磋琢磨できる適正規模の教育環境を充実していきたいと考えています。

また、重井小中学校の子どもたちの教育環境を充実させていくとともに、因北小中学校の子どもたちの学びを充実させていくため、小中一貫教育校へ移行し、尾道（因島）らしさのある9年間の教育内容を創造していきたいと考えています。

理由の2点目です。校名変更について、賛同する考えや雰囲気が醸成されていないということです。重井中学校区地域説明会の後、新聞報道もなされ、約2か月が経過しました。2か月というのは11月の重井での説明会時点です。また、因北小中学校保護者や因北中学校区地域を対象とした説明会において、重井中学校区地域説明会で出された意見や要望を紹介しました。

現在のところ、因北小中学校保護者や因北中学校区地域から、校名変更に対し賛同する意見や要望は出ていません。財政負担への影響、保護者負担の増加、大浜地域への配慮が必要等、校名変更の必要性を疑問視する意見や反対する意見が出ています。

因北小中学校の保護者、重井小中学校の保護者、両者ともに、教育環境の充実や通学路の安全対策、通学支援の充実を望む意見や要望が多かったと認識しています。

これらの状況から教育委員会として、校名変更はせず、提案どおりの方向で進めていきたいと考えています。

なお、学校の廃止や校名について、教育委員会としての意思決定は、教育委員会会議ですることとなります。また、その後尾道市議会に議案として提出し承認されれば最終決定となります。

重井での説明会から約1か月経過しておりますが、教育委員会としての考え方に変更はありません。

4 今後のスケジュール（案）について

ここに提示していますのは、大まかな今後のスケジュールになります。令和7年度からは学校再編が決定したと仮定してのスケジュールとなります。

令和6年度は、12月に因北中学校区保護者説明会・地域説明会、2月頃に因北小中学校保護者説明会を実施していきたいと考えております。2月頃の説明会では、令和7年度に立ち上げる予定の準備委員会について、推進体制等保護者の皆様に関係する部分について説明できればと考えています。

令和7年度は、因北中学校区小中一貫教育校準備委員会（仮称）を立ち上げ、教育内容、通学対策等を協議していくとともに、児童生徒間交流を実施していきたいと考えています。

また、重井小中学校閉校記念事業実行委員会の立ち上げについても検討していき、令和8年度末には重井小中学校閉校式、閉校記念事業を実施できればと考えています。

そして令和9年度から因北中学校区小中一貫教育校をスタートしたいと考えています。

「子どもたちの未来を拓く」ために、重井小中学校・因北小中学校保護者、重井中学校区・因北中学校区地域、学校、教育委員会で力を合わせ、因北中学校区小中一貫教育校による新たな学びを創造してまいります。

以上で説明を終わります。

榎原因島瀬戸
田地域教育課
長

<p>司会者</p>	<p>(質疑応答)</p> <p>続いて質疑応答を行います。ご質問等がある方は挙手をお願いします。</p>
<p>質問者 A</p>	<p>小学校の合併で児童が一斉に一緒になると、子どもたちがそわそわすると思うので、期間を決めて支援員なり増やしていただくことってというのはできるんでしょうか。</p>
<p>安保学校経営 企画課長</p>	<p>支援員の配置については、今、具体的なことはお答えできないんですけども、学校再編で統合した時の人の配置として、統合支援に係わる講師の配置が考えられます。そういったところで、やはり子どもたちが安心して、学校が一緒になって、子どもたちが一緒になるわけですから、そういった環境に早く馴染めるように、そういった支援ができる人の配置は検討していこうと考えています。</p>
<p>司会者</p>	<p>他に質問のある方は、挙手をお願いします。</p>
<p>質問者 B</p>	<p>概ね先ほどの説明で納得できましたんで、進めていただきたいということです。私は地域の者ですが、南海トラフ地震、子どもたちの安全面に興味があります。南海トラフ大地震が昨年以來、思いもよらない形で起こる可能性があります。そして、学校が、今でもそうですけど、防災教育というのをですね、そういうものをどういうふうにご考えておられるのか、お願いしたいです。</p>
<p>小柳学校教育 部長</p>	<p>防災教育ですけども、今、非常に重要な、子どもたちに対する教育の内容だと思っております。今、市内では、様々な教科の中で、防災教育または避難訓練、小学校と中学校が一緒にやっている場合もありますし、地域と合同で中学校や小学校がやっている場合もあります。ですから、小学校と中学校が一緒にやるかとか、地域の皆さんも巻き込んだ学習内容にするかとか、そういったものについて、しっかりと考えていきたいと思っております。子どもたちの命を守るというのは非常に大切ですし、また、地域の皆様と一緒に命を守る行動ができることが望ましいと思いますので考えさせていただきたいと思っております。</p> <p>それから、先ほど特別支援学級等、また子どもが環境に早期に馴染めるような配慮をしていただきたいということがありましたけれども、もちろん学校再編に伴って、先ほど課長が申しましたように、県からの支</p>

<p>司会者</p>	<p>援も得られますし、市からも配置の増員等もしておりますので、できるだけ子どもたちが、早く友達関係ができた、学校で困りごとが起きた時にすぐ対応できる体制ですとか、そういったものは最大限整備してまいりたいと考えております。</p> <p>他に質問がある方は挙手をお願いいたします。</p>
<p>質問者C</p>	<p>因北小学校PTA会長の〇〇です。小学校中学校の会長と、学校の教頭先生と教育委員会とで、この説明会とは別に何度か会議を設けていただいているんですけども、前回の会議の時に、今後、何か委員会を立ち上げる時に、PTAとしてどう関わっていけばいいのか、今後合併した際のPTA役員ですね、今、因北小学校の現3年生の保護者から立候補してもらおうということ、今年度から入学した現1年生から現3年生の保護者から立候補を募って、ただそれでも定員に満たなかった場合、立候補数に満たなかった場合は、現3年生の保護者からも再度抽選という形にさせてもらってるんですね。そういったところも重井小学校の方と、今PTAされてる方ともお話がしたいと思いますし、また実際合併しますとなった時に、PTAとは別に、その合併に向けての委員会を立ち上げるとなった時の役員の確保ですね。どういうふうな動きをしていけばいいのかっていうのは早目に保護者に伝えていきたいと思うんですね。今、ちょっとPTA役員でも、皆さん共働き、フルタイム、核家族という状態なので、PTA役員の確保自体が難しい状態ですし、私自身、コミュニティ・スクールとかもなかなか、会議が平日の昼間なので、仕事を休んでまで行くというのが難しい状態なので、そういったところも、合併してからどういうふうに保護者が動いていけばいいのかというところは、今のままだとちょっと困るなという、2月に実際、合併が決まりました、こういうふうにしてくださいというふうになった時の、現小学校中学校の。あと、中学校に関しては、今通ってらっしゃる方って合併した時にはもういらっしゃらない状態じゃないですか。そういうところを踏まえて、合併して受け入れる側ですけども、実際に保護者はどういうふうに動いていけばいいのかっていうことをですね、学校の保護者に対してというのが1点目。</p> <p>2点目なんですけれども、トイレの数がやっぱり問題になってくると思うんです。今年洋式トイレの数を増やしてもらいましたけれども、それでもやっぱりちょっと足りないのではないのかなど。毎回毎回1号館と2号館の間のトイレにみんながダッシュで行く状態。それで、トイレの確保と、3点目が放課後児童クラブですね。会長だけの説明会の時に</p>

言わせてもらっているんですけども、現在、因北小学校での放課後児童クラブが、長期休暇の時になってくると、1クラス50人定員マックスの状態、教室の中に机ぎゅうぎゅう詰めで子どもたちみんな座っていて、それでも入れない子たちも溢れている。今現在、重井の方の放課後児童クラブの多分、定員マックス30名行っているはずですよ。なので、その辺も合併してから増やしていくっていうのも、実際どうやってっていうところが、今の現在の状態では教室を増やせない、教室をまとめられないという状態なのに、どうやっていくのかなというところが疑問ではあります。以上です。

小柳学校教育
部長

私の方から1番目と3番目をお答えさせていただきますが、まずはPTA役員等、これは小学校ごととか中学校ごとに、ルールが相当違います。また、PTA会費の額とか残額とか組織とかが全く異なっていますので、例えば今の尾道みなと小学校とか尾道みなと中学校とかで言いますと、約1年間かけて、組織をどういうふうにするのかとか、残ったお金をどういうふうにしていくのかとか、候補をどういうふうに選定していくのかを時間をかけて話をされておられましたので、再編が決まりましたら、来年度から2年間ありますので、その中で保護者の方で話をさせていただきながら、整理をしていただくようになろうかと思えます。小中一貫教育校準備委員会については、これはもう来年度4月または5月に立ち上げていきたいと思えます。これはもう教育委員会が主導して行うものですので、来年、年が明けて2月になりましたら、まず保護者の方に、どういった推進体制で行って、どういう体制、人数がどれくらいの回をしていくのかというようなことを説明をさせていただきたいと思っております。現在、その中身については検討をしております。この小中一貫教育校準備委員会は夜、開催をします。これは申し訳ないです。これも尾道みなと小中学校の保護者の方が参加するのは夜の方がいいということで、夜開催させていただいておりますので、それに準じていきたいと思っております。

それから放課後児童クラブについてですが、私も夏の様子を見させていただきました。本当に50人ぐらいの子どもたちが、教室いっぱい活動しておられました。それが2クラスあるということと、重井にも1クラスあります。それで夏なんかで言いますと、因北の児童が重井に行かれているという例をお聞きして、その辺りは子育て支援課とも連携をさせていただいております。今の2クラスではとても賄えないと思っておりますので、クラスの増設等、また教室のどこをどういうふうにするのかということも、今後、学校、教育委員会、それから市長部局の子育

<p>榎原因島瀬戸 田地域教育課 長</p>	<p>て支援課とはしっかり連携をさせていただいて、保護者の方が不安になるようなことがないように整理を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>トイレのご質問ご要望をいただいております。校舎の構造上、トイレの配置について、因北小学校には大きな課題があるということは教育委員会としても認識を持っております。学校からも再三承っておりますし、今年度、市P連の因北小学校からの要望についても、2階へトイレを配置してほしいと、この要望1本だと思っております。また、議会が明日で閉会予定になりますけれども、この度の議会の中での委員会、教育スポーツ委員会の中でも、数名の議員から、因北小学校の子どもたちがトイレで困っているんだというようなご意見をいただいております。その点について、教育委員会としても非常に重く受け止めている状況でございます。</p> <p>トイレの今の状況ですね、今の場所でトイレの基数を増やしていくということはちょっと難しいなと。それで、2階3階にトイレを造っていくということも、現状すぐすぐのことにはなりません。今できることとすれば、やはり洋式化のトイレをもう少し増やしていくことで、少しでも、子どもたちのトイレ待ちがないような状況を作っていくことはやっつけていけるかなと思っておりますので、すぐすぐのことにはなりませんけれども、今現在検討しているという状況でございます。</p>
<p>質問者C</p>	<p>先ほど2年間を見通して、PTAそれぞれのルールがあるからということだったんですけれども、因北小学校のPTAの役員の任期というのが2年間なので、その辺で引継ぎが難しいかなというところがあります。</p> <p>あと、さっきちょっと伝え忘れたんですけれども、閉校委員会を重井の方は動いていて、閉校事業をされるんですよ。その方面で重井の方は動いていて、学校面では何も変わらないから、因北は何もしないというところで、また、それで重井小中、地域の方々が不満に思うことがあるのかなという心配はあります。</p>
<p>小柳学校教育 部長</p>	<p>PTAの組織というものは非常に大切なものだと考えておりますので、重井、それから因北、双方の状況等はお知らせいただきながら、より良い着地点というものを見つけていけたらと思っておりますので、また相談させていただければと思います。</p> <p>それから、この再編が成立しますと、重井の方では、閉校記念事業実行委員会を立ち上げていただいて、主に地域の方がメインとはなります</p>

	<p>けれども、そういった閉校に向けたものを進めてまいります。ただこれまでも私も様々関わってきましたけれども、やはりPTAの方も携わります。ですので、重井の方にとってみれば、主にPTAの方にとってみれば、こちらの新しい学校創りと、閉じるという両方のことを一手に引き受けてやられるようになるんですけれども、そういった負担の面でありますとか、会の開催の仕方とか、様々なことを配慮させていただきながら、そうはいつでも円滑にできるようなことは考えていきたいと思っております。</p>
司会者	<p>他に質問のある方、挙手をお願いいたします。</p>
質問者D	<p>小中教育一貫校についての教育環境の充実に、小学校の通級指導教室の設置というのは、今因北小学校の通級教室があると思うんですけど、どういうことになるのでしょうか。どういう意味なんですかね。</p>
金子教育指導課長	<p>通級指導教室ですけれども、引き続き、通級指導教室の設置というふうに言わせていただきましたので、今、因北小学校にあるものを、そのまま引き続き、因北小学校のところに通級指導教室の配置をさせていただきます。重井小学校の方にはありませんので、重井小学校の方にとってみれば新たに増えているような設備となります。</p>
司会者	<p>他に質問のある方、挙手をお願いいたします。</p>
質問者E	<p>私は因北の方なのでちょっと違うんですけど、因北の保護者が重井の保護者の立場になった時にと考えた時に、うちの娘が小6なんで、ちょうど合併の時が中3の受験時なんですね。その時に合併して再編した時に、今まで受験のために指導してくださった先生がいっぱいなくなってしまったとすると受験時にすごく影響があるんじゃないかと思うんで、重井の子どもの立場に立ってみると、そういうところも考慮してあげたらいいかなというのはちょっと思う意見ではあります。</p> <p>あと、小学校の方では3年生かな、はっさくを作ったりしている農家さんのところへ行って地域の教育をしていただいたりしているんですけども、多分重井は重井で、そういう農家さんとかに行ったりする教育とかってあると思うんですね。そこら辺も一緒になった時に、どこの農家さんに行ったりするのかとか、今までお世話になっていたところに全部因北側にしてしまうというのはちょっと違うんじゃないのかなというのは意見としてあります。以上です。</p>

<p>小柳学校教育 部長</p>	<p>重井の子どもにとってみて、因北に来られた時に、知っている先生がいるいない、それから関わってくださった先生がいるいないというのは大変大きいことだと思っておりますので、教職員配置についても、今後しっかりと考えさせていただいて、重井の子どもは、因北の子どもですけれども、そういった配慮をしていきたいと私どもも考えております。</p> <p>それから、因北小学校では「はっさくん」をはっさくの学習で地域の教材として扱ってきたのも承知しておりますし、重井の方では、わけぎの栽培を農家の方と協働してやっておられて、この度、県の食育の表彰を受けたりする素晴らしい実践をされているんですけれども、そういった地域の素材について、どういうふうに取り入れていくのかというのは、また、学校の方は教育内容をしっかりと考えていくと思っておりますので、やっていきたいと思えます。</p> <p>ただ、そういった時に地域の偏りでありますとか、地域の方に平等にというのがいいのかどうかは分かりませんが、学校に参画していただけるような配慮は必ず必要だと思っておりますので、因北の地域の方、保護者の方、重井の地域の方、保護者の方、全ての方がやはりこの場に集まって、子どもたちの教育に携わっていただけるような環境づくりはしていきたいと思っております。</p>
<p>司会者</p>	<p>他に質問のある方は挙手をお願いいたします。</p>
<p>質問者F</p>	<p>先ほど、来年度の学校選択制で定員を超えることはないというふうにお話をいただいたんですが、2年後に向けて、合併前に重井から因北に通わせるという方は確実にいらっしゃると思うんです。その時に、まず路線バスがありませんので保護者の送迎ありき。現在、因北中でも重井から通って来られている方はたくさんいらっしゃるんですけれども、どうしても自転車で行かれない、親が送れないとなった時に徒歩で通っているという子も現在いるので、2年後合併があった時に、そういうのがあった時、定期券の支給というのは考えられていると思うんですが、早急に来年の4月から路線バスを通すとか、この間の負担金のバスではないですが、そういうことを教育委員会の方から、後押しではないですけど相談をされるということは難しいですかね。</p>
<p>小柳学校教育 部長</p>	<p>重井の方からの通学についてのご質問ですけれども、まず今路線がありません。そういった中で実証実験が10月に行われました。その結果</p>

	<p>について、我々も12月中にバス会社と連携をする予定であります。今後どういうふうにご検討されるのかというのは、まだ私たちには分かりませんが、是非路線バスを開設していただければ、多分地域の方にとっても、病院に直接行けるようになるので、そういった面ではいいのかなというふうにも考えております。</p> <p>ただ、私たちも要望はできますけど、実際に実施されるかどうかというのは、やっぱり事業者が判断されるので、私たちとしても最善は尽くしていきたいとは思っております。</p> <p>また、再編するまでの、令和9年度に再編したとして、あと2年間ちょっとあるわけなんですけれども、基本的に学校選択制度を使って他校に行く場合には、保護者の方が責任を持ってやるということですので、私たちとすれば、定期券を支給するであるとか何かの支援策を講じるということは全市的にしておりませんので、まずできることとすれば、通学路の安全確保を早急にする。そういったことは、自転車通学とか徒歩通学のお子さんにとっても大切なことだと思いますので、そういったことはできるんじゃないかと思っております。</p>
司会者	<p>他に質問のある方は挙手をお願いいたします。</p>
質問者G	<p>3点ぐらい、純粹に今日は保護者として伺います。準備委員会についてなんですけど、さっき夜の開催を予定しているということをおっしゃってたんですけど、そうなると思うんですが、今日の説明会みたいに、やっぱり夜だと子どもたちを家に置いてとかなってしまうので、例えば託児じゃないけれども、子どもたちが一緒に来て過ごせるような状態を作るとか、あるいはオンラインということも、みなと小中の方がどうされているのか、詳しくは分からないんですけども、可能性として考えられた方がいいんじゃないかなと思いました。結構、何回か回数重ねて委員会されると思うので、ちょっとご配慮いただけるといいかなと思います。</p> <p>2点目が、先ほども出ました通学のバスのことなんですけれども、先ほどのご説明でもありましたとおり、準備委員会の中で、重井からだけではなくて、西浦と大浜からという点も検討していくと、バス会社の方と話し合っていくということになると思うんですけども、そちらの西浦や大浜の方も同様で、今現在で増便をしてくれないかという声がありますので、準備委員会を待たずに、12月に今バス会社の方と連携されるということをおっしゃっていたので、そちらの方も是非、ちょっとでも早く実施できるのであればしてあげた方が、子どもたち帰りの便数が</p>

なかなか少なく、1便逃したら1時間待たなきゃいけないとかね、そういう状況みたいなので、そちらもご存知なんだとは思いますが、でも、再プッシュしていただいて、もし早められるようでしたら、ちょっと早めていただけるようなご検討をしていただけるように後押ししてもらえると嬉しいです。

最後3点目なんですけど、こちら質問の返答にもあったみたいに、小中一貫校として設立するけれども、まあ、連携をすることはいいことだとは思いますが、統一した指導体制、管理体制が行き過ぎないようにしてほしいということを質問で出されている方がいて、これすごく共感するなあと思っているのが、因南の保護者の方とやりとりをしている中で、因南を統合した時に校則を中心とした規制がかなり強くなったみたいなんです。統合する上で複数の地域から生徒たちが来るので、まず立ち上げの時に一体感を出すためにとか、そういった意図があったんじゃないかと想像するんですけど、例えばですけど、制服のポロシャツの下の下着は白色とか、そういう細かい規定が統合の時に作られて、そのまま今も継続しているということで、そこまではうるさくは言われなくなったということなんですけども、小中一貫教育校にするということを言っていますし、イメージとして結構規制を強めるというふうな方向性にあるのであれば、ちょっとそこは窮屈になっちゃうかなという気がしますので、そこら辺があまりにも無意味に規制を強めない方がいいんじゃないかなと思いますので、そこら辺をご配慮いただきたいなあということを思っています。すみません。ほぼ要望という形になるんですけども、もし何かご返答いただけることがあればお願いします。

小柳学校教育
部長

小中一貫教育校準備委員会については、夜の開催というのが私は適切だというふうに思っております。今やっている事例で言いますと、準備委員会はやはり会長さんに代表として来ていただく、決定する場ですので、それが相応しいと思っているんですけども、各部会については、これも夜に開催をしているんですけども、これは保護者の方を固定せずにローテーションで、日によって来れる来れないがあるので、例えばある学校だと、1つの部会に10人ぐらいのメンバーを入れておいて、来れる人が3人ずつぐらいローテーションで出るとか、そういう工夫をしておりますので、またそういったものを実働する時に、こういった事例がありますよとか、必ずしも固定しなくてもいい会もあると思いますので、工夫をしていきたいと思っております。ただ、会を効率化するために、やはりオンラインはちょっと少し避けたいなということは思っており

	<p>ます。託児の可能性についてはまたちょっと探してみたいと思います。</p> <p>それから通学バスについて、確かに今年度からだったですかね、減便されたのが。まあ、いろんな諸事情が事業者さんにおありだと思うんですけども、またお会いした時にそういった声も出ていることは伝えていきたいと思っております。</p> <p>それから校則等ですね、強める方向に行ったら窮屈になっちゃうんじゃないかというのがありますが、今、校則等については、ある一定の学校生活を送る上で、子どもたちの安全上ルールを決めておかないといけないと思っておりますけれども、それが過剰になるようなことは考えておりませんし、やはり今子どもたちの中で校則を決めたりとかということも中学校ではやっておりますので、そういった子どもの意見を取り入れながら、また子どもたちが安全に学校生活を送れる範囲のところ、学校がこれは決めていくものだと思っております。</p>
司会者	<p>他に質問のある方は挙手をお願いいたします。</p>
質問者H	<p>質問というより要望をしたいんですけど、前回の10月9日の地域の説明会の時に3点ほど質問をさせていただいて、人々の話の中に、重井と因北の合併は随分前から上がっていたのに、どうしてこんなに遅くなったのかということと、それから小中一貫のこととか、将来的に因島の小中の統合がどうなるのかなということを質問させていただいたんですけども、その時の回答の中に、地域の意見を聞いたりするのに10年ぐらいの長いスパンで考えていかないといけないと回答があったと思うんです。それから、年間に40数名しか因島に出生していないという事実も教えていただいたんで、できたら早い内に、尾道市全域に関しての少子化の課題であるというような回答をいただいたと思うので、多分スライドの24ページですかね、保護者の意見として、近い将来因島に小中が1校になるかもしれないという、ほぼ薄々そんな気配を感じていらっしゃる方もいるようなんで、できたら10年のスパンあるんだったら早目に方針を打ち出していただきたいというか、あの時、別の地区の方から、ぼやぼやしていると5、6年先には生まれた子は小学校へ上がるんだよというふうな話もあったと思うんで、すみません、勝手なようですが、早目に全市的にあるいは因島的にも将来どうなるのかなという方針を打ち出していただいて、人の話の噂としてあがっているのは、「どうなるんかね。校舎が新しいから、因北は今度因南の校舎へ移るんかね。それともどこかに新しい校舎を建ててくれるんかね。」とか人々の間でいろんな思いがあると思うんで、早目に方針を出していただける</p>

<p>小柳学校教育 部長</p>	<p>とありがたいなあと地域の1人として思っています。お願いします。</p> <p>そういった意見、本当にこの説明会をさせていただく中で、かなりいただいております。やはりこの因島だけではなくて、尾道市域全体の将来像を出してほしいというのは、様々な方からご意見をいただいております。私たちもそういった皆様方の声や、私たち自身も危機感を持っておりますので、来年度辺りからですね、市内全体の将来の学校のあり方について、本格的に検討させていただこうと思っております。それが何年かかけて検討させていただくんですけれども、それが整いましたら、市民の皆様アナウンスをさせていただいて、それまでにも計画ができるまでにいろんな地域の方や、保護者の方で意見をお聞きしながら当然決めていくんですけれども、ある程度まとまりましたら、市民の皆様公表させていただいて、またご理解をいただくこういった場を設けていきたいというふうに思っております。</p>
<p>司会者</p>	<p>他に質問のある方は挙手をお願いいたします。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>(質疑なし)</p>
<p>司会者</p>	<p>それでは質疑応答の時間を終わらせていただきます。</p> <p>最後に、教育委員会として、本日のご質問ご意見を参考にしながら、今後の学校再編に対する取組に活かしてまいりたいと思っております。以上で閉会いたします。小中学校保護者、地域、就学前児保護者の皆様本日はありがとうございました。</p> <p>(終了 20:20)</p>

※議事録中の質問者を示すアルファベットは一連の質問の流れを示すものであり、異なるアルファベットであっても、同一の方のご発言である場合があります。